

子育て支援グループ はな＊はな

小さな子どもを育てる親が
ほっこりできる居場所づくり



子育て期間の中で、未就園児を育てる時期は短いものの、一人で頑張っていると出口のないトンネルのようにも感じます。そんな親を孤独感から救い出して社会と繋がれる場所を提供し、子どもの成長を共に喜ぶ子育て支援団体取材しました。

0歳から未就園児のお子さんをみんなで見守る

はな＊はなは、0歳から1歳半の赤ちゃんと保護者を対象に、手作りおもちゃを使った触れ合いや手遊び、そして保護者同士が交流できる場を提供する「はな＊はな一む」を第1、3金曜日に市立まちづくりセンターで開催しています。また、第2、4金曜日は草津コミュニティ支援センターで「まちのちっちゃな図書館」を未就園児と保護者を対象に開催し、絵本の読み聞かせや大型紙芝居を行っています。更に第5週の金曜日は、市立まちづくりセンターのふらっとサロンで季節に合った「お楽しみ会」を開催しています。

支援を行っているのは、60代から80代で構成される12名の元気なスタッフです。「0歳から参加しているお子さんが、ある日、私を名前で呼んでくれたときは感激しました。」そう話す代表の白井さんとスタッフの皆様にお話を伺いました。

活動分野 子育て支援

スタッフ数 12名

団体設立 2001年11月

団体ホームページ

ホームページは作成していません。チラシ配布により私たちの活動をお伝えしています。

社会と繋がる場所の提供

はな＊はなが設立される数十年前から草津市は人口増加に伴って、草津駅や南草津駅周辺の環境が大きく変わり、社会の家族構成も核家族が主流になる中、お家の方が一人で子育てをすることが当たり前になっていました。当時、小さな赤ちゃんを育てる保護者同士の交流の場もなく、一日中、我が子とべったりの生活から精神的に追い詰められる方も多く、子どもへの虐待が社会問題になっていました。そんな中、自身の子育てが一段落し、まだ歩かない赤ちゃんを育てる保護者がホッとできる場所を提供したい思いから、2001年11月に「はな＊はな」を設立されました。設立当初は他に子育て支援をするグループがなく、スタッフの支援を求めて遠方から赤ちゃんを連れて来られる保護者が多くいらっしゃったそうです。「公園デビューすれば、保護者同士の交流が自然と生まれるけど、赤ちゃん連れの保護者は世間から孤立していました。そのような親が一番困っているのではと思いました。」と当時の状況を白井さんは振り返ります。

出会って、しゃべって、安心して帰る

時代が変わっても、「はな＊はなる一む」に通う保護者の悩みは18年前から変わらないそうです。「離乳食やオムツに対しての質問は今も昔も変わりません。」とスタッフの方は言います。支援を続ける中で、昔の子育ての方法にとられることなく、現代の考えにも寛容的であることを心掛けているそうです。

「まちのちっちゃな図書館」は対象年齢に幅があるため参加人数も多いそうです。まだ言葉の分からない赤ちゃんを育てる保護者の方に、絵本に親しみを持ってもらえることを願っているそうです。このような活動を通して保護者同士が繋がり、「最終的には自分たちで子育てサークル等を立ち上げてもらえたらと思います。」と白井さんは話します。今は、遠方から来られた親子に、「はな＊はなる一む」から卒業された親が立ち上げた他地域の子育てサロンを紹介することもあるそうです。はな＊はなの活動は登録制ではないため、気軽に立ち寄ることができるのが保護者の間で受け入れられているそうです。「同じ悩みを持っている保護者同士がここで出会い、しゃべって、辛い想いをしているのは自分だけではないことに気付いて安心して帰ります。」と保護者のホッとする姿にスタッフのみなさんも嬉しく感じるそうです。

できることを、できる範囲で

はな＊はなが提供する活動は基本的に参加無料だそうです。活動は、市や民間の助成金で運営されています。最近はスタッフの高齢化が進み、支援内容も体力と気力に合った取組が変わってきているそうです。過去にサークル通いしていた保護者にスーパーで出会って声を掛けてもらうこともあり、当時の支援に感謝されるそうです。「設立当初はおばちゃんと呼んでもらっていたけど、今はおばあちゃんと呼ばれる。」と白井さんの言葉にメンバーのみなさんから笑いが起きました。「長年活動を続けていますが、小さな子どもたちの姿が私たちのエネルギーの源です。」とメンバーのみなさんは揃って言います。

時代と共に子育て支援施設や支援グループが増え、子育て環境は変わりましたが、「先輩お母さん」の存在を求めて足を運ぶ保護者は今も多くいらっしゃいます。一人で悩まず、また、家族や身内に相談しにくいことも、気軽に話せる場所がここにあると知っているだけで、日々の子育てが少し楽になりますね。

取材＊メモ

取材は夏祭り終了後、お疲れにもかかわらず、多くのスタッフの方に参加いただきました。はな＊はなの過去の話で盛り上がる中、スタッフ1名の80歳の誕生日と知り、全員でお祝いしました。幅広い年齢層で長く活動を続ける秘訣は、無理をせずに、楽しく活動することだと改めて感じました。いつまでも若々しく、イキイキとしたみなさんの表情にこちらもパワーをいただきました。



▲親子の触れ合いの様子



▲季節に合った「お楽しみ会」(七夕)



▲お遊びの後にはみんなでお片付け



▲はな＊はなのみなさん (メンバー3名欠席)